

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

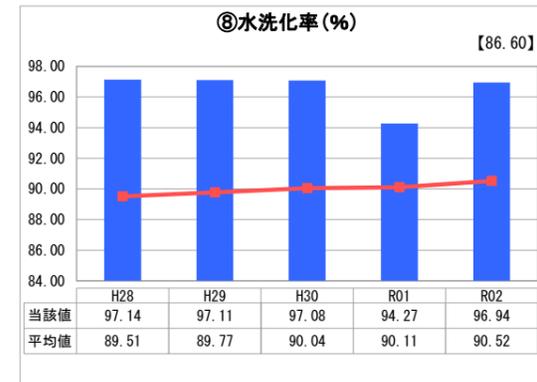
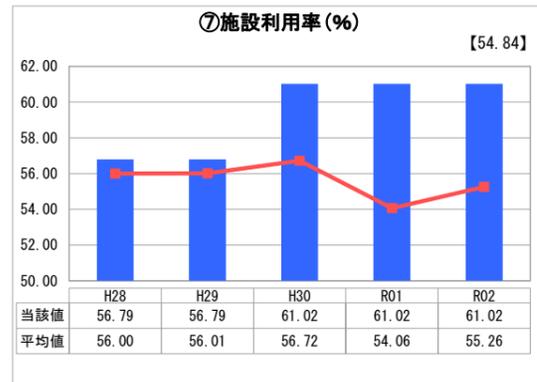
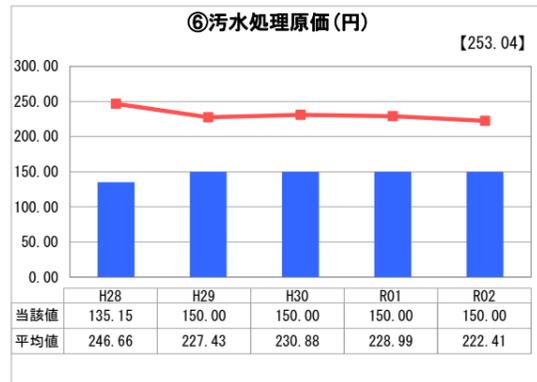
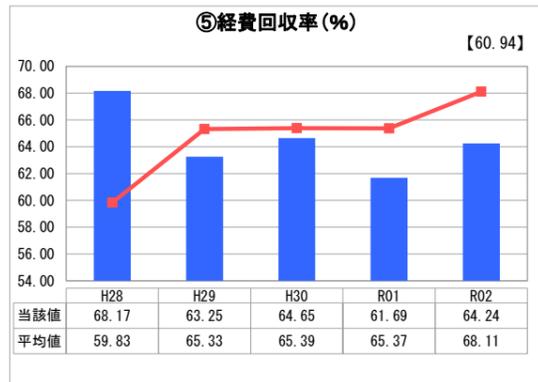
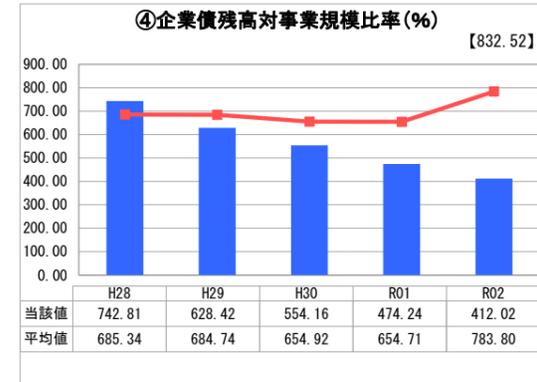
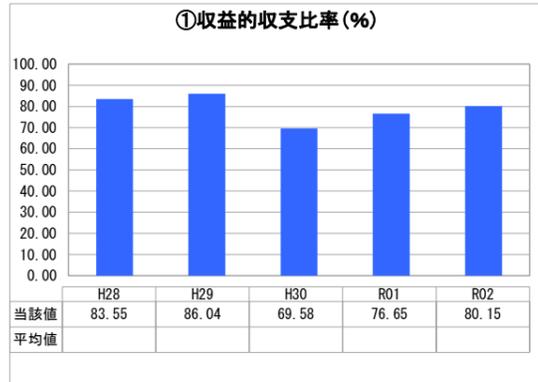
福島県 泉崎村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	93.94	100.00	3,060

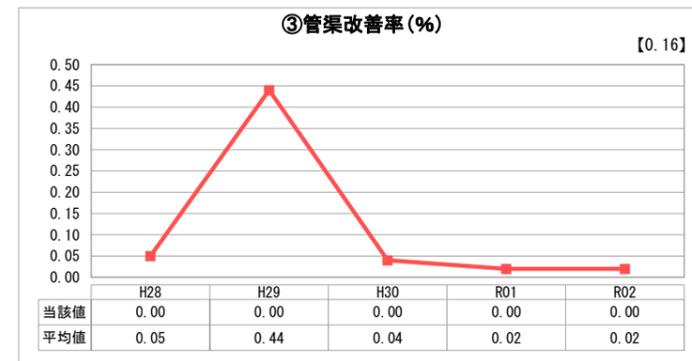
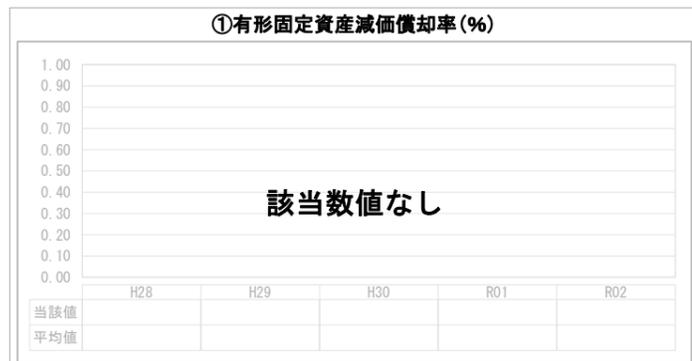
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,358	35.43	179.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,939	17.30	343.29

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

地方債償還金残高が減っているが、収益的収支比率は100%を下回っているためさらなる費用削減をし、健全経営を続けていく。  
また、未回収の使用料の回収に努め、適正な使用料の収入を確保したい。  
水洗化率は、96.94%と高い水準であるが、さらなる水洗化率の向上に努めていきたい

### 2. 老朽化の状況について

老朽化についての数値はないが、実際に管渠の老朽化は進んでいるため、計画的に管渠の更新を行っていききたい。

## 全体総括

健全経営ではあるものの、今後も経費の削減や、使用料の増収に努め、健全経営を図っていききたい

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。